

簿記実務検定

商店が商品を仕入れたり、販売したり、給料を支払ったりといったことを、帳簿に記録・計算・整理することを簿記といいます。

簿記実務検定は、簿記に関することはもちろん、経営管理や経営分析の基礎能力があることを認定する民間資格です。

3級から1級までの3段階に分けられています。1級の場合、さらに会計部門と原価計算部門の2科目に分かれています。両科目に合格しないと1級合格にはなりません（ただし、どちらかに合格すれば部門合格証書が与えられます）。

試験内容

■ 3級と2級 — 商業簿記部門

- 簿記原理の基本
- 商品売買を主としている企業で使われる簿記の問題

■ 1級 — 会計部門

- 会社法による会計処理
- 会計上の理論的な問題を加えた専門的かつ高度な問題

■ 1級 — 原価計算部門

- 工業簿記に関する仕訳の問題
- 原価計算など特殊な計算が含まれる問題

試験日程

6月、1月

検定料（テキスト代）

1,000円

平成27年度の資格取得状況

その他

本校は沖縄県商業教育研究会主催の簿記検定も行っています。試験日程は7月と2月、検定料は800円です。平成19年度の資格取得状況は、4級が74名、3級が30名、2級が13名、1級（会計）が3名となっています。